

4 / 18 (木) 人材育成ワークショップ1

●目的：人材育成が目指すイメージの合意

●参加者：合計 15 人

10 人（含む視覚障害者、車いす使用者、聴覚障害者、杖使用者）

4 人(日本からの専門家+パシヤイ理事長)

1 人（通訳）

●会場：ミラッドホール1F

●プログラム：

午前

□バリアフリーの基本的な考え方、バリアフリーを専門家と当事者がいっしょに進める方法、バリアフリーを推進するにはどのような人材が必要かということについて講義を行い、意見交換によりイメージを共有した。

□趣旨説明：これから3年間かけて、カラジ市のみなさんでWSをできるようにしてもらいたい。そのためには以下の2点を理解してもらいたい。

1) 障害者が参加することはとても大切

2) BF 基準+チームでプロジェクトとして活動すること

□講義1：BFの基本的な考え方

午後

□講義2：住民と行政の協働まちづくり ～烏山ネット・わあ～く・ショップの挑戦～

□質疑応答



4 / 19 (金) ベヘシティ通りの下見

●目的：4月22日から行うワークショップの現場を、ファシリテーターを体験する予定の市職員とともに下見した。

●参加者：合計8人

3人

4人(日本からの専門家+パシャイ理事長)

1人(通訳)



4 / 20 (土) 人材育成ワークショップ2

●目的：ワークショップの狙いと取り組み方法

●会場：ミラッドホール1F

●参加者：合計14人

9人(含む視覚障害者、車いす使用者、聴覚障害者、杖使用者)

4人(日本からの専門家+パシャイ理事長)

1人(通訳)

●プログラム：

午前

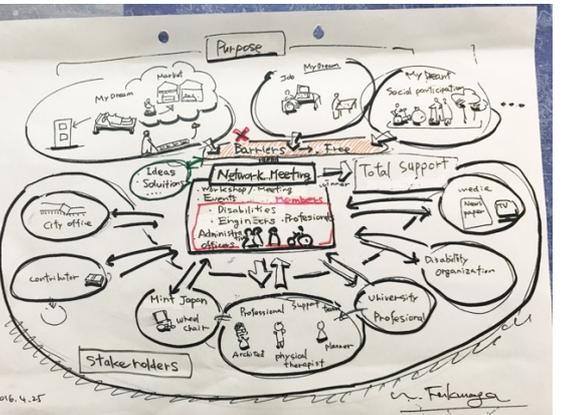
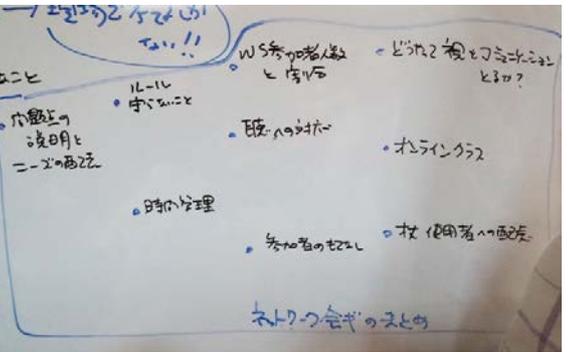
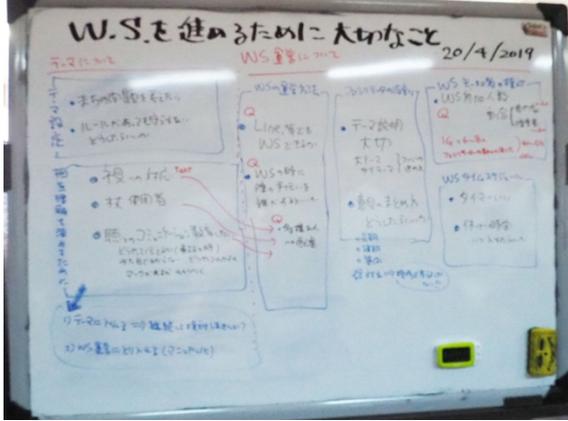
今後イランで「ワークショップ」を独自に実施するために、ワークショップのねらいと取り組み方法を説明し、意見交換を行った。

講義3：ワークショップのねらいと取り組み方法

午後

参加者による意見交換：これまで聞いた講座を受けて、「ワークショップを進めるために大切なこと」というテーマで、参加者で意見を整理した。キャラジ市役所職員のジャワディ氏がファシリテーター役になり、ワークショップの方法を体験しながらまとめ

た。



4 / 2 1 (日) 休日

- 人材育成ワークショップの意見整理とバリアフリー研修の準備

4 / 2 2 (月) バリアフリー研修 1

- 目 的：日本のバリアフリーの紹介と街歩きの進め方の確認
- 会場：ミラッドホール1F
- 参加者：約 60 人

4人(日本からの専門家+パシャイ理事長)

3人(通訳)

- プログラム：

午前

□講義：「日本のBFまちづくりの紹介」

□点字ブロック体験

午後

□翌日の街歩きの説明



## 4 / 2 3 (火) バリアフリー研修2

●目的：ベヘシティ通りでバリアフリー整備を考える

●会場：ミラッドホール1F /ベヘシティ通り

●参加者：約60人

4人(日本からの専門家+パシャイ理事長)

3人(通訳)

●プログラム：

午前

□3グループで街歩き。

□低床バスを体験し、現地に移動。舗装面、段差、交差点の溝、側溝、横断歩道、バス停、誘導用ブロックの敷設方法などについて、現地で確認をしながら課題を抽出した。

グループA



グループB



グループC



午後

□まち歩きのみとめ

□市役所職員3名がファシリテーターになり、課題の整理と改善アイデアの検討を行った。

グループ A



グループ B



グループ C



#### 4 / 24 (水) バリアフリー研修3

- 目的：へベシティ通りのBF提案を考える
- 会場：ミラッドホール1F
- 参加者：約60人
  - 4人(日本からの専門家+パシャイ理事長)
  - 3人(通訳)
- プログラム：

午前

- グループごとに改善アイデアを出し合い、地図と対照させてまとめた。
- グループごとにまとめた成果を発表し、全体で意見交換を行った。

午後

- 日本での子ども向けユニバーサルデザイン DVD 視聴
- 日本での車いす使用者の暮らし DVD 視聴





終了後、WS 参加者のまちサブジブラに視察。  
 映画館、ホールなどのBF化を見学し、アドバイスをする。  
 模造紙写真  
 A 班



B 班





4 / 25 (木) 報告会 / 人材育成ワークショップ 3

午前：ワークショップの報告会

- 目的：市長（代理：副市長）、ショウラ（市議会）ほか関係部門への報告と情報共有
- 会場：市役所 11F 大会議室
- 参加者：市役所関係者約 80 人



午後：人材育成ワークショップ 3

- 目的：「(仮称) ネットワークミーティング」の進め方
- 会場：ミラッドホール 1F
- 参加者：合計 14 人
  - 8 人 (含む車いす使用者、聴覚障害者、杖使用者)
  - 4 人 (日本からの専門家 + パシチャイ理事長)
  - 2 人 (通訳)

● プログラム：

□ 市職員（専門家）と、キャラジ市の障害者がバリアフリーの整備や啓発活動に取り組むチームとして「(仮称) ネットワークミーティング」の今後の活動、1 年間のスケジュール等について意見交換を行った。

